

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】平成17年4月21日(2005.4.21)

【公開番号】特開2003-52652(P2003-52652A)

【公開日】平成15年2月25日(2003.2.25)

【出願番号】特願2001-243339(P2001-243339)

【国際特許分類第7版】

A 6 1 B 5/0245

A 6 1 B 5/145

G 0 1 B 11/00

G 0 1 N 21/17

【F I】

A 6 1 B 5/02 3 1 0 B

G 0 1 B 11/00 A

G 0 1 N 21/17 6 1 0

A 6 1 B 5/14 3 1 0

【手続補正書】

【提出日】平成16年6月11日(2004.6.11)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0028

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0028】

ステップ8において、A/D変換部11からの検出信号の出力が最大出力値 $W_{max}$ でない場合(ステップ8でNo)には、可変制御手段12において、この時のA/D変換部11からの検出信号の出力をデータD1として記憶し(ステップ12)、このデータD1をデータD2'として更に記憶する(ステップ13)。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0054

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0054】

ステップ8において、A/D変換部41からの検出信号の出力が最大出力値 $W_{max}$ でない場合(ステップ8でNo)には、可変制御手段42において、この時のA/D変換部41からの検出信号の出力をデータD1として記憶し(ステップ12)、このデータD1をデータD2'として更に記憶する(ステップ13)。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0080

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0080】

ステップ8において、A/D変換部71からの検出信号の出力が最大出力値 $W_{max}$ でない場合(ステップ8でNo)には、この時のA/D変換部71からの検出信号の出力をデータD1として記憶し(ステップ12)、このデータD1をデータD2'として更に記憶する(ステップ13)。